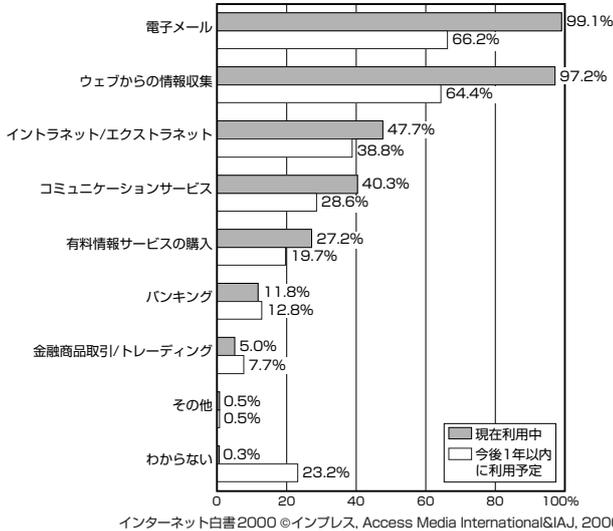


第4章 企業

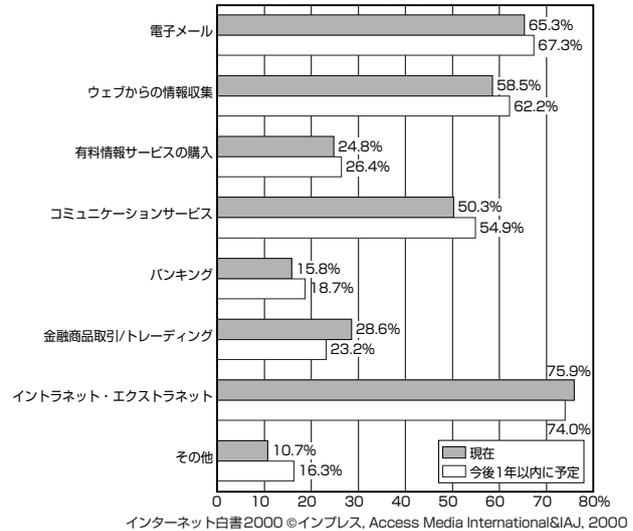
社内のインターネット利用内容

従業員の65%にメールが浸透

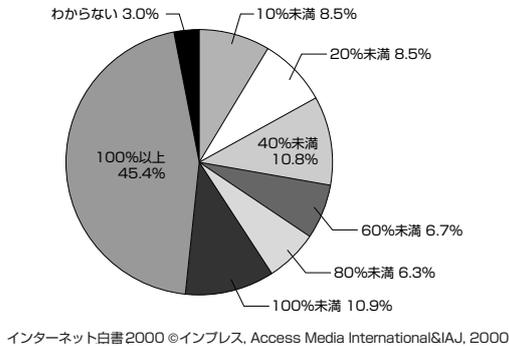
資料1-4-14 インターネット利用内容（現在/今後1年以内の予定）
N=1487



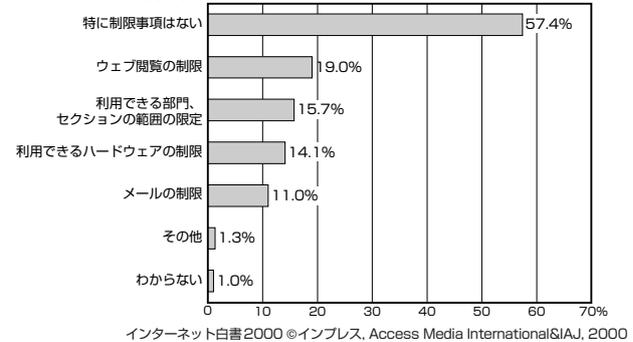
資料1-4-15 インターネット利用内容ごとの対従業員数の平均利用浸透率（現在/今後1年以内の予定）
内容ごとにNは異なる



資料1-4-16 社員へのメールアカウント発行比率 N=1487



資料1-4-17 社内のインターネット利用に関する制限事項の有無
N=1487



解説

企業内でのインターネット利用内容について聞いたところ、最も利用率が高いのは「電子メール」(99.1%)で、社内でのインターネット利用イコール電子メール利用といっても過言ではない(資料1-4-14)。続く「ウェブからの情報収集」(97.2%)も電子メール同様利用率が高く、この2つの内容が他を引き離している。次いで「イントラネット/エクストラネット」(47.7%)、「コミュニケーションサービス」(40.3%)となっている。また「有料情報サービスの購入」(27.2%)も個人利用者とは比べるにかなり利用度が高い項目である。さらに、「バンキング」や「金融商品取引/トレーディング」についても今後は現在の利用率以上に利用意向が高い。

内容の名項目ごとに利用率は異なるが、各項目ごとに利用している企業に従業員数に対するパーセント比率を記入してもらい、

その平均値をグラフ化した(資料1-4-15)。一概には昨年と比較できないが、各項目ともに従業員全体に対する利用浸透度は高まってきた。最も高いのは昨年に引き続き「イントラネット/エクストラネット」の浸透率である。調査対象企業の社内LANの構築率が95%を超えていることもあるが、業務システムの構築などにより社内利用率も必然的に高まり、昨年の52.4%から順調に伸びている。

電子メールの浸透率は65.3%であったが、これは社員へのメールアカウント発行比率(資料1-4-16)と相関して高くなってきている。

インターネット利用に関する社内の制限事項については昨年に比べ全体にゆるくなっており、57.4%が「特に制限事項はない」と回答している(資料1-4-17)。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp